

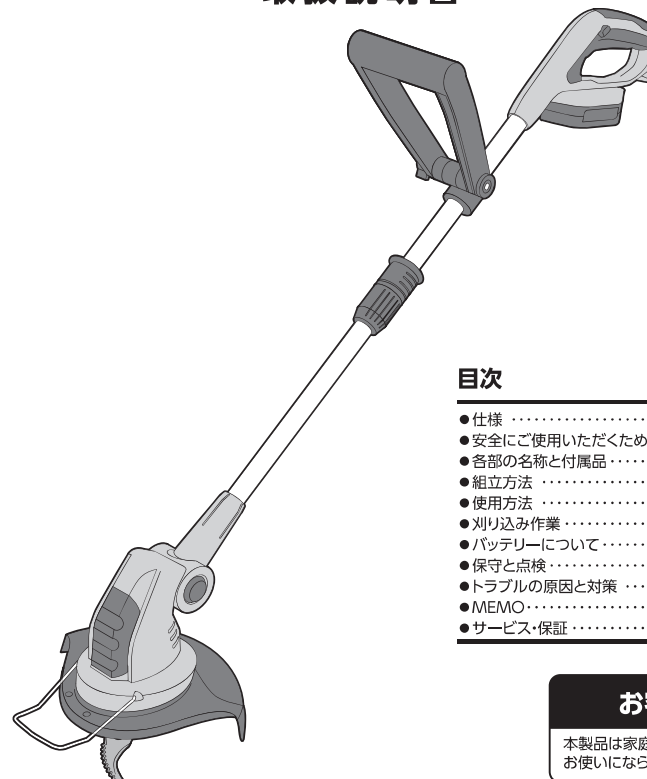


CGT-1825 (KH)

家庭用

コードレス グラストリマー

取扱説明書



目次

| | |
|----------------|-------|
| ●仕様 | 1 |
| ●安全にご使用いただくために | 1~2 |
| ●各部の名称と付属品 | 3 |
| ●組立方法 | 4~8 |
| ●使用方法 | 9 |
| ●刈り込み作業 | 10 |
| ●バッテリーについて | 11~12 |
| ●保守と点検 | 13 |
| ●トラブルの原因と対策 | 13 |
| ●MEMO | 14 |
| ●サービス・保証 | 15 |

お客様へ

本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。



警告

安全のため必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

本機の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

本機は充電式の草刈機です。バッテリーを付けた状態で保管したり持ち運ぶと不意に動く可能性があり大変危険です。使用しないときは必ずバッテリーを外してください。

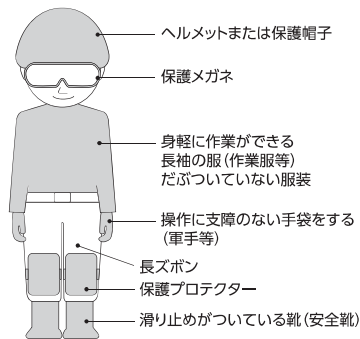
| 仕様 | |
|---------|--|
| 型番 | CGT-1825(KH) |
| 電圧 | 直流18V |
| 回転数 | 約8000min ⁻¹ (回転/分) |
| 本体寸法 | 約全長825~1,040×全幅235×全高395(mm) ^{*1} |
| 本体重量 | 約2kg |
| 実作業時間目安 | 約30分 ^{*2} |

*1.本体寸法は、ブレード(刃)・キワ刈りガードを除く。
*2.実際に刈る草木の種類、刈物の状態、充電の状態によって変わることがあります。
※改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

充電器

| | |
|-------|----------|
| 入力電圧 | 単相交流100V |
| 入力周波数 | 50/60Hz |
| 入力容量 | 45W |
| 出力電圧 | 18V |
| 出力電流 | 1.5A |
| 充電時間 | 約2時間 |

下図のような動きやすい服装で作業をおこなってください。



安全にご使用いただくために

このたびは「コードレス グラストリマー CGT-1825」を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、警告および注意事項を厳守して安全に正しくご使用ください。また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる場所へ、大切に保管しておいてください。

※ここに示した警告及び注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

本機は充電式の草刈機です。バッテリーを付けた状態で保管したり持ち運ぶと不意に動く可能性があります。使用しないときは必ずバッテリーを外してください。

※鋸爪ブレードを本書ではブレード(刃)と表記することがあります。

- 輸送途中の衝撃等の理由で部品や金具が緩んだり破損する事があります。使用前に必ず各部を確認してください。緩んだ状態や破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因となります。異常が見つかった場合、お買い求めの販売店、または商品お問合せ先までご相談ください。
- 作業者は長袖、長ズボン、滑りにくい運動靴、保護メガネ、ヘルメットまたは帽子、プロテクター、手袋等を必ず身に付けてください。身につけず、処理物が飛散したときなど、思わぬ事故の原因となります。
- 安全カバーは必ず取り付けてご使用ください。取り付けないと、作業中に処理物や小石などが飛散して思わぬ事故の原因となります。
- 作業前にブレード(刃)、安全カバーに欠けや割れが無い確認してください。
- 作業前に作業をする場所の小石、空き缶、金属片等を取り除いてください。ブレード(刃)に当たると飛散し、事故、ケガの原因となります。
- 作業場に電線などが無い事を確認してください。電線などがありますとブレード(刃)で切断のおそれがあり、感電や火災、漏電の事故の原因となります。
- 雨の中や雨上がり、散水直後の刈り込みはしないでください。感電や漏電のおそれがあり大変危険です。
- 揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くでは絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があり大変危険です。

- 作業中は、本機のハンドル、ループハンドルをしっかりと握ってください。しっかりと握っていないと作業中に本機が振れて事故の原因となります。
- お子様や使用方法がわからない方には絶対に使用させないでください。
- お子様や作業員以外の人を作業場15m以内に近づけないでください。作業時に飛散した石ころや異物でケガをするおそれがあります。
- 運転中は絶対に回転部に手や足等を近づけないでください。
- 次の作業のときは、必ずバッテリーを本機から外して作業してください。
 - ・回転部の異物を取り除くとき。
 - ・回転部に直接触れるとき。(ブレード(刃)の交換等)
 - ・調整、点検を行うとき。
 - ・本機を持ち運ぶとき。
 - ・本機を使用しないとき、保管するとき。
- 本機が熱くなったり、異常が感じられた場合は、ただちに使用をやめてお買い求めの販売店、または商品問い合わせ先までご連絡ください。
- お客様ご自身の修理、改造は絶対にしないでください。重大な事故の原因となります。
- 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。電源コードを持って電源コンセントからプラグを抜かないでください。火災やショートの原因となって大変危険です。
- 不意な始動は避けてください。スイッチに指をかけて運ばないでください。
- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
- 専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリーを使用しないでください。充電器やバッテリーは絶対に改造しないでください。
- 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出した液体に不用意に触らないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな流水で充分洗い医師の診察を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になる事があります。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。リサイクルのため、お買い上げの販売店へご持参ください。
- ラッカー・ペイント・ベンジン・シンナー・ガソリン・ガス・接着剤などがある場所では充電しないでください。
- 充電器のバッテリー接続部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。バッテリーを工具箱や釘袋など金属と一緒になるおそれがある場所には保管しないでください。発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- バッテリーに釘などの尖ったものを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- 正しく充電してください。
- めれた手で触らないでください。

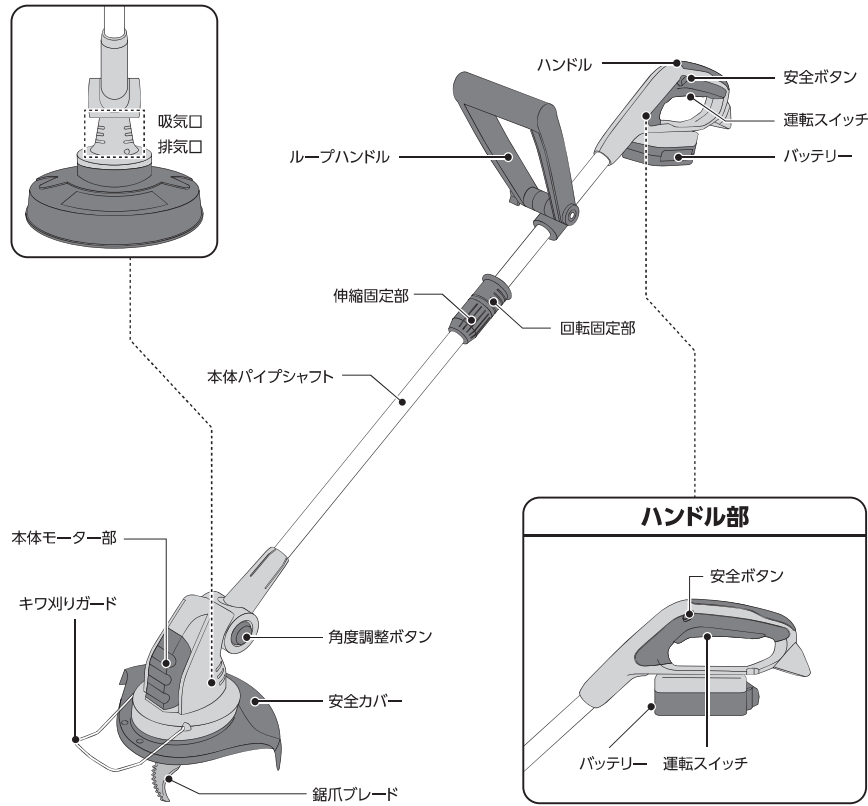


注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。取り付けが確実でないとおそれ、事故の原因となります。
- 本機は大事に使用してください。誤って落としたり、ぶつけた場合は異常の有無を確認してください。
- 本機を保管するときは、お子様の手の届かない場所に安全な状態で保管してください。湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたる場所には保管しないでください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。
- 注意に表記してある場合でも状況によっては、死亡、重症等の重大な事故につながるおそれがありますので、必ず守ってください。

各部の名称と付属品



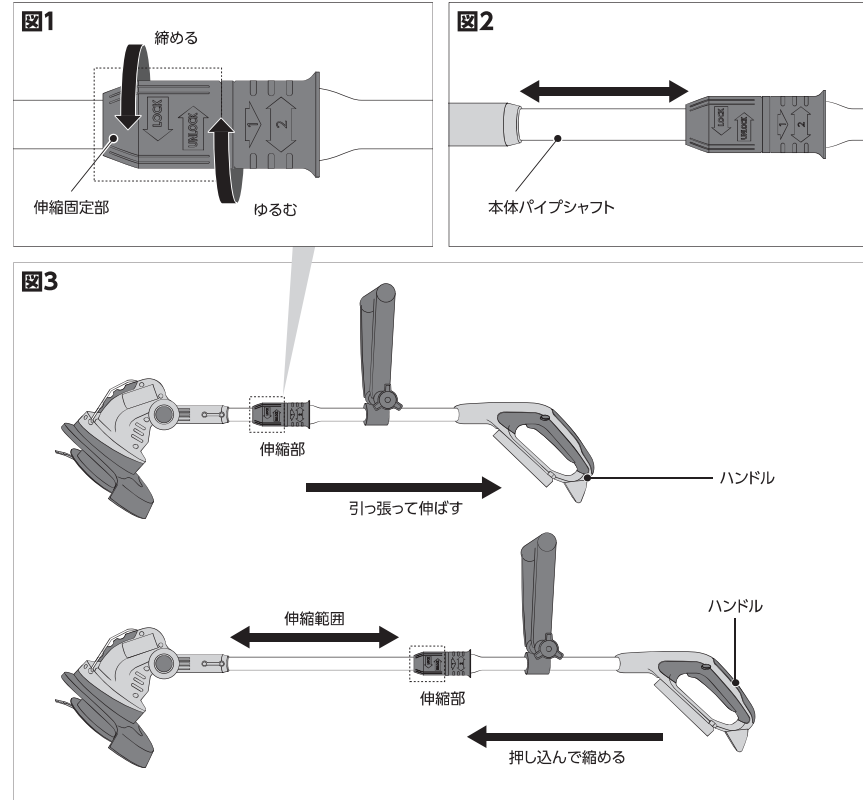
〈付属品〉

| | | | | |
|--|--|--|-----------------------------|--------------|
| ①安全カバーセット×1 ①-1 安全カバー×1 ①-2 取付けネジ×2 ※①は本機モーター部に取付け済 | ②ループハンドルセット×1 ②-1 ループハンドル×1 ※ループハンドルセットは本体パイプシャフトに取付け済 | ②-2 ループハンドルベース×1 ②-3 固定ボルト×1 ②-4 固定ノブナット×1 | ③キワ刈リガード ※③は本機モーター部に取付け済 | |
| ④鋸爪ブレード×10 | ⑤保護メガネ×1 | ⑥バッテリー×1 | ⑦充電器×1 | ⑧取扱説明書(本書)×1 |

組立方法

1 本体パイプシャフトの伸縮方法

- 伸縮固定部をUNLOCK方向へ回します。(図1)
- 伸縮固定部がゆるんだら、本体パイプシャフトを上下させます。(図2・3)
- 作業しやすい長さで伸縮固定部をLOCK方向へ回し、しっかり締めます。(図1)



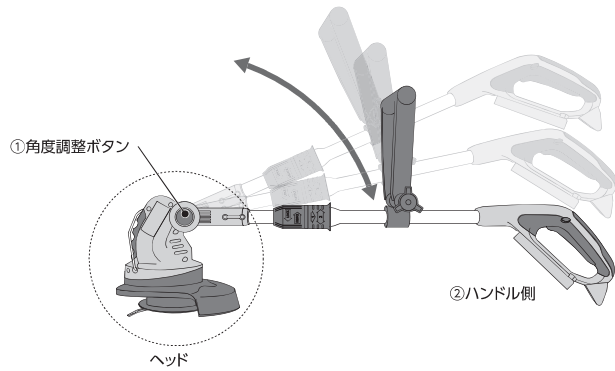
⚠ 注意

- 必ずバッテリーを外してください。バッテリーをつないだままおこないますと、機械が不意に動き出してケガや重大な事故の原因になります。
- 本体パイプシャフトの伸縮中、無理に押し引いたりしないでください。故障・破損の原因になります。
- 必ず本体パイプシャフトを固定した状態で使用してください。固定しない状態で使用すると事故・故障の原因になります。

2 ヘッド角度の調整方法

- ①角度調整ボタン[PUSH]を押し込みます。(図4)
- ②ハンドル側を動かして角度を変えます。ボタンから指を離し「カチッ」と音が出て止まる所まで動かすと固定されます。(図4)
- ③ヘッド角度は4通りの設定が可能です。

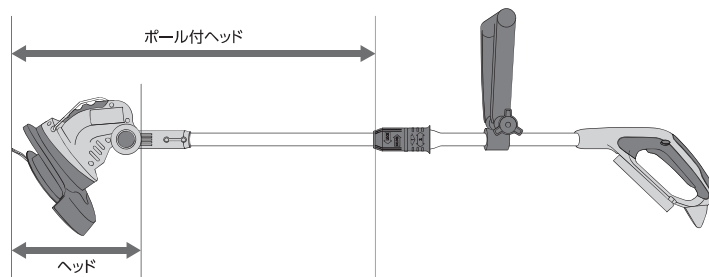
図4



注意

- 必ずバッテリーを外してください。バッテリーをつないだままおこないますと、機械が不意に動き出してケガや重大な事故の原因になります。
- 角度を変更される場合は、必ず4か所の位置で「カチッ」と音がして角度調整ボタンが上に戻り確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと、ケガや重大な事故の原因になります。

ヘッドとポール付ヘッドの違い



3 ポール付ヘッドの回転方法

- ①回転固定部を1の方向に引き下げます。(図5)
- ②回転固定部を1の方向に引き下げ、ポール付ヘッドを反時計回りに回転させます。45度のところで回転固定部が「カチッ」とはまり固定されます。同じ方法で90度の位置でも固定できます。(図5・6)
- ③回転を戻す時は、回転固定部を1の方向へ引き下げ、ポール付ヘッドを時計回りに回転させます。回転固定部が「カチッ」とはまり固定されます。(図5・6)
- ④ポール付ヘッドの回転は、0度・45度・90度の3通りの設定が可能です。(図6)

図5

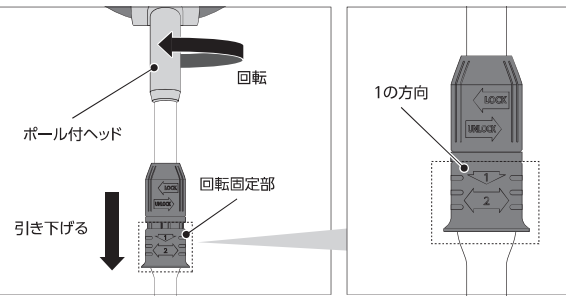
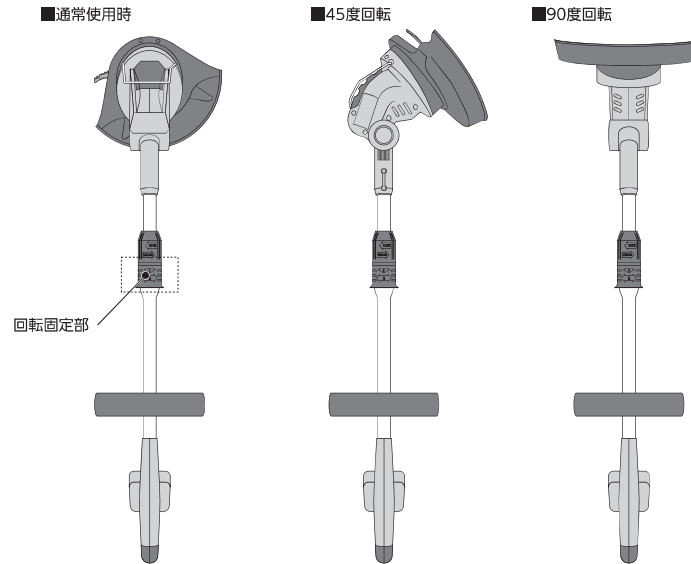


図6

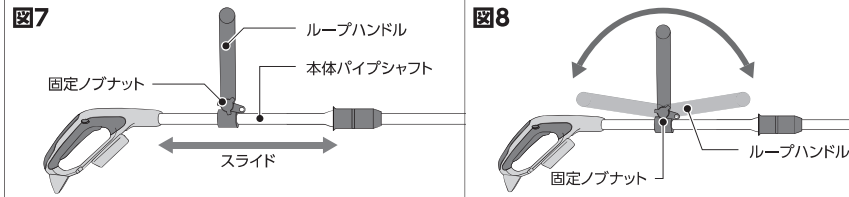


注意

- 必ずバッテリーを外してください。バッテリーをつないだままおこないますと、機械が不意に動き出してケガや重大な事故の原因になります。
- 角度を変更される場合は、必ず3か所の位置で「カチッ」と音がして回転固定部が上に戻り確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと、ケガや重大な事故の原因になります。

4 ループハンドルの調整方法

- ①ループハンドルに付いている、固定ノブナットを左に回して(反時計回り)緩めてください。(図7)
- ②ループハンドルを本体パイプシャフトの上下にスライドさせ使いやすい位置にセットし、ループハンドルの角度を調整し固定ノブナットを右に回して(時計回り)固定してください。(図8)
- ③ループハンドルは本体パイプシャフトに取付け済み。

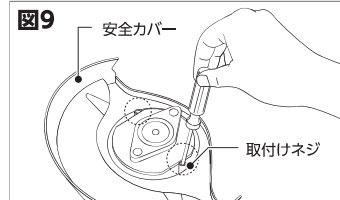


注意

- ループハンドルはガタ、ゆるみがないように確実に固定してください。

5 安全カバーの取付け方

- 定期的に安全カバー取付けネジ(2カ所)に緩みがないか確認してください。
ネジが緩んでいる場合は、ドライバーで増し締めしてください。(図9)
- ③安全カバーは本機ヘッド部に取付け済み。



注意

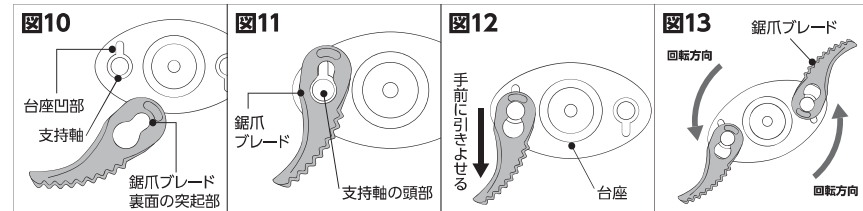
- 必ず安全カバーを取り付けて使用してください。
- 安全カバーを取り付けずに使用すると処理物や小石などが飛散して思わぬ事故の原因になります。

6 鋸爪ブレードの交換方法

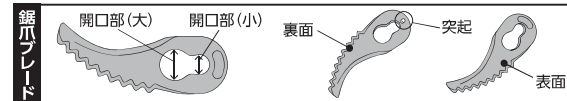
注意

- 必ずバッテリーを外してください。バッテリーをつないだままおこないますと、機械が不意に動き出してケガや重大な事故の原因になります。
- 必ず丈夫な手袋をつけてケガをしない様に刃先等に気を付けておこなってください。
- ブレード(刃)は付属の「鋸爪ブレード」のみ使用可能です。チップソー・金属刃・ナイロンコードなど付属以外のブレード(刃)は使用できません。専用替刃「鋸爪ブレードYNB-210」をご使用ください。

- ①鋸爪ブレードの開口部(大)をブレード取付け部の支持軸に合わせてはめ込みます。鋸爪ブレードの突起部がブレード取付け部の凹部にはまるように位置を合わせてください。(図10・11)
- ②ブレード取付け部の支持軸に鋸爪ブレード開口部(小)がくるように、鋸爪ブレードを手前に引き寄せれば完了です。(図12)
- ③取り外しの際は、①～②の手順を逆におこなってください。
- ④取り付けた際、回転方向と鋸爪ブレードの向きが(図13)のようにになっているかを確認してください。



- ③支持軸は安全のため、作業中に障害物に当たると根元から外れる様に設計されています。当てない様に注意して作業してください。
- ④鋸爪ブレードは、耐衝撃性に優れていますが、鋭角性のある障害物に当たると損傷しますので、当てないように注意して作業してください。
- ⑤割れや欠け、変形している鋸爪ブレードは使用しないでください。本体の異常振動、本体の故障、思わぬ事故の原因となり大変危険です。



注意

- 鋸爪ブレードは消耗品です。切れ味が悪くなったら交換してください。切れ味の悪い鋸爪ブレードや摩耗しすぎた鋸爪ブレードを使用されると機械に負担がかかり、故障の原因になります。

使用方法



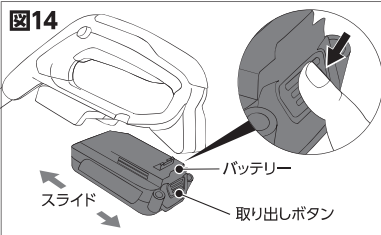
警告

●保管するときや、持ち運ぶときは、必ずバッテリーを外してください。

1 バッテリーの取付け・取り外し方

- ①バッテリーを取り付けるときは、本機とバッテリーの溝を合わせ、確実に奥まで差し込んでください。(図14)
- ②バッテリーを本機から外すときは、取り出しボタンを押しスライドさせると取り外せます。(図14)

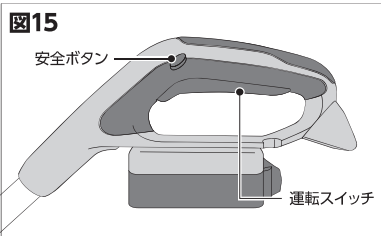
図14



2 運転スイッチの操作

- ①安全ボタンをおしたまま運転スイッチを握ると作動します。作動したら安全ボタンから手を離してください。(図15)
- ②運転スイッチを離すと停止します。安全ボタンを押さなければ運転スイッチは入りません。

図15



3 キワ刈りガードの使用法

キワ刈りガードを使用することで、壁面での作業が安心です。(図16)

- ①キワ刈りガードを使用する場合は、キワ刈りガードを地面の方にスライドさせ、使用時のポジションにしてください。(図17)
- ②キワ刈りガードを使用されない場合は、キワ刈りガードを上面にスライドさせ、未使用時のポジションにしてください。(図17)

図16

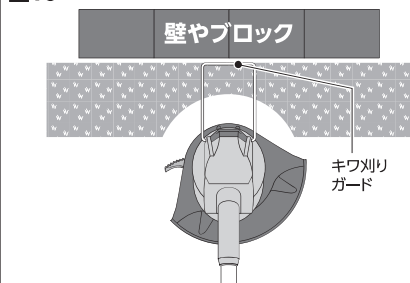
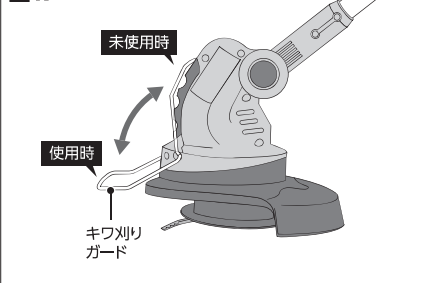


図17



刈り込み作業 (故障なく、長くご使用いただくために、下記の事にご注意ください。)

作業前に作業する場所の小石、空き缶、空き瓶等の障害物を取り除いてください。

- ①本機を体の右側で持ってください。(図18)
- ②左手でルーブハンドル・右手でハンドルを握り、安定した姿勢で作業してください。(図18)
- ③ブレード取付け部を地面から浮かし、少し左に傾け、本機の左側で作業してください。(図18)
- ④右から左に体の周りを回すように刈ってください。刈草が作業者側に飛びにくく、安全に作業ができます。(図19)
- ⑤草の密集した場所で押し付けるようにするとモーターの回転が落ち、機械に負担がかかり故障の原因になります。回転が落ちないように作業してください。
- ⑥足元が滑りやすい場所等では使用しないでください。
- ⑦モーター部吸気口に刈草・土埃等が詰まらないよう、時々点検し、除去してください。吸気口が詰まった状態で使用するとモーター焼けの原因になります。(図20)
- ⑧使用中に異常な振動があった場合は、ただちに作業を中止してください。
- ⑨壁際などで使用される場合は、キワ刈りガードをご使用ください。(図21)

図18



図19

右から左へ

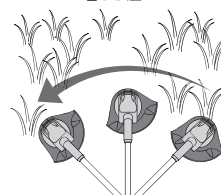
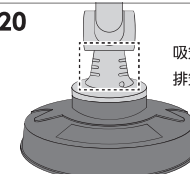
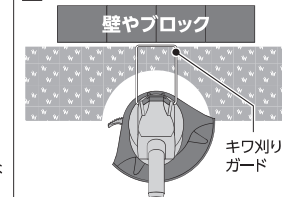


図20



※空気取入口に刈草・土埃等は詰まらないようにしてください。

図21



注意

- ブレード(刃)は付属の「鋸爪ブレード」のみ使用可能です。チップソー・金属刃・ナイロンコードなど付属以外のブレード(刃)は使用できません。専用替刃「鋸爪ブレード YNB-210」をご使用ください。
- 吸気口やブレード(刃)を点検するときは、必ずバッテリーを外してください。

バッテリーについて

警告

- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。バッテリー液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 約2時間で充電が完了しますので、充電完了後はバッテリーを抜き取り電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。充電完了後に差したまま放置しないでください。火災・発熱・破損・液漏れのおそれがあります。
- 高温・多湿・雨の当たる場所で充電しないでください。火災・発熱・破損・液漏れのおそれがあります。
- 100V以外の電源では使用しないでください。故障の原因となります。
- バッテリーを使用されない場合は、満充電にして保管してください。長期間使用されない場合は、6ヶ月に1度は充電してください。長期間充電をせず放置された場合、自然放電によりバッテリーの故障や寿命短縮の原因となります。

1 バッテリー保護機能

- 本機で作業中、下記状態になるとモーターが停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。
- 本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。運転スイッチをいったんはなし、再度スイッチをにぎり直してください。
 - バッテリー容量が少なくなるとモーターが自動停止します。
 - 炎天下での作業でバッテリーが高温になるとモーターが自動停止します。

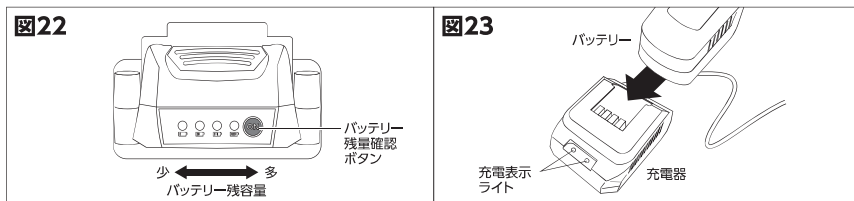
2 バッテリーの充電方法

バッテリー残量確認ボタンを押してバッテリー残量を確認できます。(図22)

- ①充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
- ②バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、確実に奥まで挿入してください。(図23)
- ③バッテリーを挿入すると充電表示ライトが(赤)に点灯し、充電が完了すると(緑)の点灯に変わります。
- Ⓧ充電不可・待機中は、充電表示ライトが(赤)に点滅します。
- ④バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

| 通常時のライト表示・内容 | | 異常時のライト表示・内容 | |
|--------------|--------------------|--------------|------------------|
| 緑色点灯 | 充電前／充電器を電源に差し込んだ状態 | 赤色点滅 | 充電不可／バッテリーが高温です。 |
| 赤色点灯 | 充電中 | | 冷却後再度充電してください。 |
| 緑色点灯 | 充電完了 | 緑色点滅 | 充電不可／接触不良・ショート等 |

ご不明な点は、お買い求められました販売店、又は商品問合わせ先までご相談ください。



3 バッテリーを長持ちさせるには

- 力が弱くなってきたと感じたら、充電してください。
- 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲でおこなってください。
- バッテリーを使用されない場合は、満充電にして保管してください。長期間使用されない場合は、6ヶ月に1度は充電してください。長期間充電をせず放置された場合、自然放電によりバッテリーの故障や寿命短縮の原因となります。

4 バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買上げの販売店へご持参ください。



Li-ion 20 使用後はリサイクルへ

保守と点検



警告

●保守と点検をするときは、必ずバッテリーを外した状態でおこなってください。

- 使用後は乾いた布で、油汚れなどの汚れをよく拭き取ってください。
- 高温・多湿、雨の当たりやすい軒下などを避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- モーター吸気口に付いた草などはブラシで落としてください。
- 定期的に安全カバー取付けネジが緩んでないか点検してください。緩んでいたら締め増ししてください。

トラブルの原因と対策 (本機は一般家庭での草刈を目的にしていますので、過酷な状況での連続使用は避けてください。)



警告

●原因の調査や対策を講じられる場合は必ずバッテリーを外してからおこなってください。

| 症状 | 原因 | 対策 |
|-----------|---------------------------|---|
| 動かない | バッテリーが抜けていませんか。 | バッテリーを本機にしっかり差し込んでください。 |
| | バッテリーの温度が高温になっていませんか。 | 本機よりバッテリーを取り外し、バッテリーを冷ましてください。 |
| | 過負荷になっていませんか。 | 本機よりバッテリーを取り外し、過負荷の原因を取り除いてください。 |
| | バッテリー残容量が少なくなっていないですか。 | 本機よりバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。 |
| | ブレード(刃)に異物が巻きついていませんか。 | 異物を取り除いてください。 |
| 異音・振動 | ブレード(刃)がカケたり、割れたりしていませんか。 | P8 組立方法⑧を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。 |
| | ブレード(刃)が間違っ取り付けられていませんか。 | P8 組立方法⑧を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。 |
| うまく草が刈れない | 刈り込むスピードが遅すぎませんか。 | 本機が刈り込む速度に合わせゆっくり進んでください。 |
| | モーターに負荷を掛け過ぎていませんか。 | ブレード(刃)を強く押し付けず、モーターの回転を利用し徐々に刈進んでください。 |
| | ブレード(刃)の寿命ではありませんか。 | P8 組立方法⑧を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。 |

表中に記載されていない故障など、ご不明な点は、お買い求められました販売店、または商品に関するお問合せ先までご相談ください。

MEMO